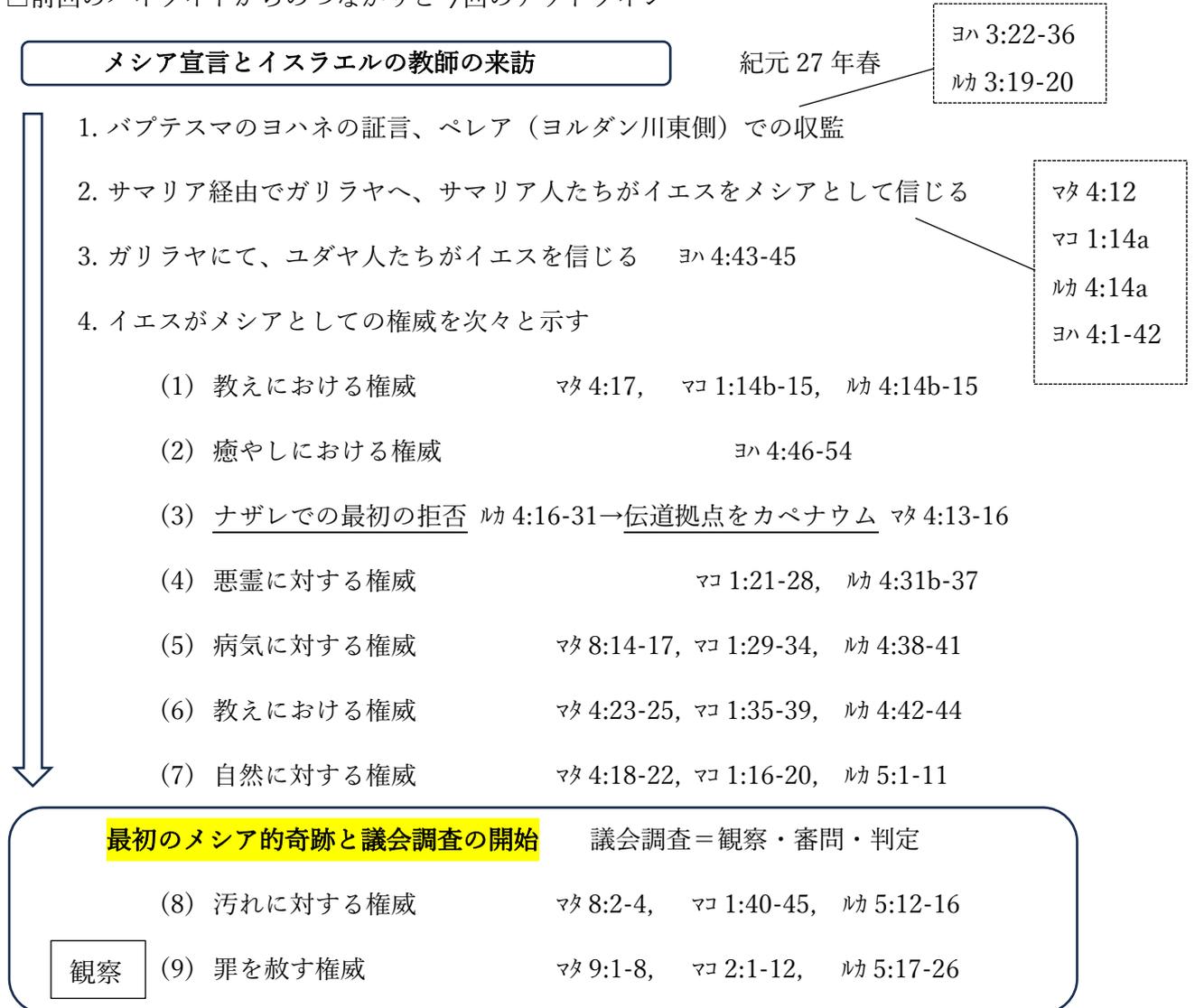


最初のメシア的奇跡と議会調査の開始

□前回のハイライトからのつながりと今回のアウトライン



I. 最初のメシア的奇跡

- A) 奇跡について
- B) ツアラアト患者の癒やし（汚れに対する権威）

II. 議会調査の開始

- A) 議会調査について
- B) 中風患者の罪の赦しと癒し（罪を赦す権威）

I. 最初のメシア的奇跡

A) 2種類の奇跡・・・当時のユダヤ教ラビたちは奇跡には2種類あると教えていた。ひとつは、【神の霊の力によるなら誰でもできる奇跡】。もう一つは、【メシアにしかできない奇跡】、これを「メシア的奇跡」と呼ぶ。メシア的奇跡とは、具体的には、次の3つである。

- ① ツアラアト患者を癒やし、その人を儀式的汚れから清めること
- ② 口をきけなくする悪霊に憑かれた人から、その悪霊を追い出すこと
- ③ 生まれたときから目が見えない人の目を見えるようにすること

イエスは、その公生涯3年半の間で、①を2回、②を4回、③を1回、計7回、メシア的奇跡を行った。最初のメシア的奇跡は、①のツアラアト患者の癒やし。

B) ツアラアト患者の癒やし（汚れに対する権威） ルカ5：12～16

12節 さて、イエスがある町におられたとき、見よ、全身ツアラアトに冒された人がいた。その人はイエスを見ると、ひれ伏してお願いした。「主よ。お心一つで私をきよくすることがおできになります。」

- 全身ツアラアトに・・・病状はかなり進んでしまった状態。長年この病気のために、家族からも社会からも隔絶されていた人生。
- おできになります・・・イエスがメシアならメシア的奇跡をできる

13節 イエスは手を伸ばして彼にさわり、「わたしの心だ。きよくなれ」と言われた。すると、すぐにツアラアトが消えた。

- 手を伸ばして彼にさわり・・・モーセの律法では、ツアラアト患者に触れると、その人も儀式的に汚れる。イエスは、ここであえて彼にさわり、ご自身が汚れを受けない権威を持っていることを示した。同時に、久しく人から触れられたことのなかったこの人に、イエスの憐れみが伝わったことであろう。

14節 イエスは彼にこう命じられた。「だれにも話してはいけない。ただ行って、自分を祭司に見せなさい。そして、人々への証しのため、モーセが命じたように、あなたのきよめのささげ物をしなさい。」

- 祭司に見せなさい・・・モーセの律法により、ツアラアト患者が治ったと判定するのは祭司。判定が出るまでは、家族や友人のもとに行ってはならない。判定のためには、祭司は7日間にわたる嚴重な調査と診断をしなければならない。その人が本当にツアラアト患者だったのかという調査、その人は本当に治ったのかという診断、治癒に至った経緯や誰がどのようなことをしたのか、それは適正な方法だったのかなどの調査、である。7日間の調査により祭司が治癒を認めたときは、8日目に律法の定める4種類のささげ物をする。これで、その人は家に帰ることができる。このような詳細な規定が設けられているにもかかわらず、モーセの律法が成立して以来、ユダヤ人のツアラアト患者の誰一人として治癒した者はなく、そのため祭司でこの規定による判定を経験した者もいなかった。イエスによって癒やされ清められたこの人が初めてであり、この人の判定を受け持った祭司も初めての経験であった。かくして、エルサレムの指導者層の間に、大きな驚き起きた。

15～16節 しかし、イエスのうわさはますます広まり、大勢の群衆が話を聞くために、また病気を癒やしてもらうために集まって来た。だが、イエスご自身は寂しいところに退いて祈っておられた。

- 寂しいところに退いて祈っておられた・・・イエスは、荒野に行き一人となる場所と時間をつくり、祈った。宣教活動が次の段階に進む重要な節目。次の段階とは、議会調査の開始である。

II. 議会調査の開始 ルカ 5：17～26

- A) 議会調査について・・・当時のユダヤ指導者層の頂点はユダヤ議会。71人の議員から構成され、議長は大祭司。すでにヘロデ大王が誕生したメシアを探し出して殺そうとした事件から30年以上経過していた。いつメシアが登場するかが、この時代の関心事であった。もしメシアを自称する人物が現れたら、議会として調査団を派遣することを決めていた。調査は3段階、観察、審問、そして判定。第一段階の観察では、調査団はメシアを自称する人物と直接話したり、質問したりすることはしないで、黙って観察するだけ。観察の結果、確かにメシアである可能性が認められるなら、次の審問段階に進む。まずは、黙って観察である。

17節 ある日のこと、イエスが教えておられると、パリサイ人たちと律法の教師たちが、そこに座っていた。彼らはガリラヤとユダヤのすべての村やエルサレムから来ていた。イエスは主の御力によって、病気を治しておられた。

- パリサイ人たちと律法の教師たち・・・パリサイ人はユダヤ教パリサイ派のラビたち。律法の教師たちとは、モーセの律法に関する学者たち。議会が任命し派遣した調査団である。
- ガリラヤとユダヤ・・・当時のユダヤ人の「国内」は、北のガリラヤ地方と南のユダヤ地方。エルサレムは、南のユダヤ地方にある中心都市。
- すべての村やエルサレムから・・・調査団を構成する人々には、エルサレムはもちろん、国内全域の町村の指導者たちも加わっていた。

B) 中風患者の罪の赦しと癒し（罪を赦す権威）

18～19節 すると見よ。男たちが、中風をわずらっている人を床に載せて運んで来た。そして家の中に運び込み、イエスの前に置こうとした。しかし、大勢の人のために病人を運び込む方法が見つからなかったので、屋上に上って瓦をはがし、そこから彼の寝床を、人々の真ん中、イエスの前につり降ろした。

20節 イエスは彼らの信仰を見て、「友よ、あなたの罪は赦された」と言われた。

21節 ところが、律法学者たち、パリサイ人たちはあれこれ考え始めた。「神への冒瀆を口にするこの人は、いったい何者だ。神おひとりのほかに、だれが罪を赦すことができるだろうか。」

- 神おひとりだけが、罪を赦すことができる・・・これは正しい。しかし、調査団は、メシアが罪を赦す権威を持っていることを知らなかった。

22～23節 イエスは彼らがあれこれ考えているのを見抜いて言われた。「あなたがたは心の中で何を考えているのか。『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて歩け』と言うのと、どちらが易しいか。

- 罪は赦されたと言う方が易しい。目に見える証拠を必要としないから。

24～26節 しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたが知るために――。」そう言って、中風の人に言われた。「あなたに言う。起きなさい。寝床を担いで、家に帰りなさい。」すると彼はすぐに人々の前で立ち上がり、寝ていた床を担ぎ、神をあがめながら自分の家に帰って行った。人々はみな非常に驚き、神をあがめた。また恐れに満たされて言った。「私たちは今日、驚くべきことを見た。」 → この後、議会調査は、第二段階「審問」へ。

□参考資料 7回にわたるメシア的奇跡を記録する福音書の箇所

順番	種別	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
1	ツァラアト 1人	8:2~4	1:40~45	5:12~16	
2	口をきけなくする悪霊	12:22~45	3:20~30		
3	口をきけなくする悪霊	9:32~33			
4	口をきけなくする悪霊	17:14~20	9:14~29	9:37~42	
5	生まれながらの盲人				9:1~41
6	口をきけなくする悪霊			11:14~36	
7	ツァラアト 10人			17:11~19	